

第10回千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG

議事概要

1. 日時：令和4年3月11日（金）11:00～12:00
2. 場所：千葉国道事務所 202 会議室
3. 出席者
小島 昌希（関東地方整備局 千葉国道事務所長）〔座長〕
狩生 正彦（代）（関東地方整備局 首都国道事務所 副所長）
大胡 賢一（関東地方整備局 道路部 道路計画第一課長）
田中 満（関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長）
大谷 彬（関東地方整備局 道路部 計画調整課長）
高津 功（代）（千葉県警察本部 交通部 交通規制課 課長補佐）
長島 博之（千葉県 県土整備部 道路計画課長）
中村 浩一（千葉市 建設局 道路部長）
木下 篤（東日本高速道路(株) 関東支社 総合企画部 総合企画課長）
糸山 清高（東日本高速道路(株) 関東支社 千葉管理事務所長）
神林 尚樹（東日本高速道路(株) 関東支社 市原管理事務所長）
上村 治（東日本高速道路(株) 関東支社 千葉工事事務所長）
水野 高幸（首都高速道路(株) 計画・環境部 計画調整課長）
齊藤 純一（首都高速道路(株) 計画・環境部 快適走行推進課長）

4. 議事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 千葉国道事務所長

(2) 審議

- ・ 千葉県湾岸地域の交通状況について
- ・ (仮称) 検見川・真砂スマート IC について
- ・ スマート IC 整備に伴う国道 357 号渋滞対策の検討について

<委員からの主な意見等>

■千葉県湾岸地域の交通状況について

- ・ 東京都と千葉県を結ぶ湾岸地域では、都心方面と千葉県を行き交う人・モノの流れが集中し、広範囲にわたり慢性的な交通渋滞が発生しているが、今後も港湾機能の強化等に伴う周辺道路の交通需要の増大が見込まれることを確認。
- ・ 交通需要の増大が見込まれる千葉県湾岸地域の渋滞対策では、国道 357 号の渋滞対策だけでなく、道路網を構成する各道路管理者が一体的に対策を取組みことが重要。千葉県湾岸地域のポテンシャルを活かすためにも、引き続き各道路管理者で連携することが大事。

■(仮称) 検見川・真砂スマート IC について

- ・ スマート IC 整備により多岐にわたる効果が期待される一方、国道 357 号千葉西警察入口交差点付近では、スマート IC の利用車両の増加に伴い渋滞悪化が懸念されることを確認。
- ・ 今後検討を進めるには、千葉市は国と連携し沿線地域への丁寧な説明が必要。

■スマート IC 整備に伴う国道 357 号渋滞対策の検討について

- ・ 検討中のスマート IC 計画に近接した主要渋滞箇所への更なる交通負荷に対する検討が必要であることを確認。
- ・ 対策の検討については、国は千葉市と連携し一体的に取り組むこと、効率的効果的な当面の対策についても検討することを確認。
- ・ 渋滞対策の構造については、国道 357 号の交差点形状を踏まえ、安全性かつ円滑化に留意した検討が必要。

以上